



親も子も、私らしいひととき。

るだけの存在ではなくて、私にもできることがある。それを発見しよう』と始めたのです」
居場所として使っている和室の壁は会員が利用できるギャラリーになっていて、自分で作った小物などの展示販売もできる。また、自分のできることを登録した会員が講師となり、ヨーガ、ベビーマッサージ、フラワーアレンジメントなど、多彩な講座が行われている。教える経験をした人は、とても自信がつくようだ。

また、ふらつとは子どもたちが社会とのつながりを経験する場でもある。

「子どもにとっては多くの時間を一緒に過ごす母親以外の大人に出会う場です。多くの大人に可愛がってもらって、遊んでもらえる場ですね。そういう経験をした子どもは、社会に対する信頼感をより強く持ちます。母親と同じ価値観の大人だけが自分にかかわるわけではない、ということ子どもは学んだ方が